

令和7年度 浜松市立富塚中学校 学校経営構想

1 国、社会の動向

- 予測困難で急激な変化の時代  Society 4.0（情報化社会）
Society 5.0：経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会
社会を生き抜くための資質・能力の育成
- 新学習指導要領
より良い学校教育を通じてより良い社会を創る 社会に開かれた教育課程
何を学ぶか どのように学ぶか 何ができるようになるか
主体的・対話的で深い学び 3つの柱（評価の3観点）
- 令和の日本型学校教育
「個別最適な学び」と「協働的な学び」 GIGA スクール構想

2 浜松市の教育 第4次浜松市教育総合計画（R7～）

- 基本理念 「描く夢や未来の実現」
- キーワード・コンセプト ①主体性 ②多様性・包摂性 ③信頼・協働
- 目指す子供の姿＋目指す教職員の姿
- 3つの方針「未来を創る」「魅力ある環境」「連携・協働」と5つの政策

これらを受けて、富塚中学校では

I 校訓・学校教育目標・目指す学校像

1 校訓 「感謝 探究 実践」

（人の気持ちに気づく生徒 分かるまで考える生徒 ためらわずに行動する生徒）

2 学校教育目標

「自ら考え進んで実践し、共によりよく生きる生徒の育成」

3 目指す学校像

個性を認め合い、明るく温かくだれもが安心して生活できる学校

夢と希望、勇気を持ち、主体的に学び、共に成長できる学校

<合言葉> 「1UP」 「共によりよく生きる」

生徒訓：「富中プライド」

～当たり前のことを当たり前にやる（やってはならないことは絶対にやらない）～

II 今年度の重点

1 授業の充実に向けて

- ・ 教科指導の充実

協働

切磋琢磨

※教科部会の設定（含 技能教科）

※教科内授業公開 ※授業評価

- ・ 「主体的に学ぶ生徒の育成」 ※個別最適・協働的
- ・ ICTの活用 主体的・対話的で深い学びの実現のために
- ・ 基本的学習習慣の確立

2 心温まる関わり

- ・ 心、体、命を大切に 慈愛
- ・ 生徒の思いを大切にした生徒指導（生徒の心に寄り添いながら）
×怒鳴る アンガーマネジメント

⇒生徒の将来の幸せを考え、愛情をもってきちんと叱る

- ・ ほたる学級生徒と ※学校にとっての大きなポイント
- ・ 「生活の心得」の見直し

3 生徒主体の学習、部活、学校行事

- ・ 富中だからこそできる活動 「生徒が主体となり、教師が支援」

4 キャリア教育の深化充実、キャリア教育による人づくり

- ・ 自己の将来を見据えた実践、計画的継続的な努力

CS との関わり

5 不登校、いじめの減少（抑制）

- ・ 些細なことでも相談できる関係づくり、心の耕し
- ・ 初期対応 ※迅速に、手厚く

- ・ 「学校は楽しく、安心できる場所である。」

教職員も楽しく！

6 時間外在校等時間の縮減

7 不祥事 0 ・ 体罰 0 ・ 不適切な言動 0

体に触れる行為

浜松市教職員・富中教職員としてのプライド

Ⅲ 重点の具体

1 学習指導 (授業改善の視点)

(1) 教科指導の充実

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」を目指した単元構想の工夫
- ・ 一人1台のタブレットを活用した授業
⇒ 効果的な活用場面の洗い出し
- ・ 学びを振り返り、今後の学習(家庭学習を含む)につなげる指導
- ・ 学習計画表を活用し、生徒が見通しを持ちつつ、学びの跡を残せる授業
- ・ 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる授業
- ・ ファシリテーションを取り入れた、話合いの深まる授業
- ・ 説明責任が果たせる「評価・評定の在り方」の構築(評価規準も含む)

☆ 教科部会を中心とした教科研修の充実

☆ 「思考力・判断力・表現力等」の育成

(2) キャリア教育の充実

- ・ 年間指導計画に基づいたキャリア教育の実践(特別活動、各教科等)
- ・ SDGsの学習や各学年の体験学習が社会参画につながる学習プログラム
- ・ 「本物」「本職」「専門家」に関わる機会の設定
- ・ 富中1UPパスポートの活用(振り返り・評価)と基礎的・汎用的能力の育成

☆ 学んだことを自己の成長につなげる、自己の将来を見据えた取り組み

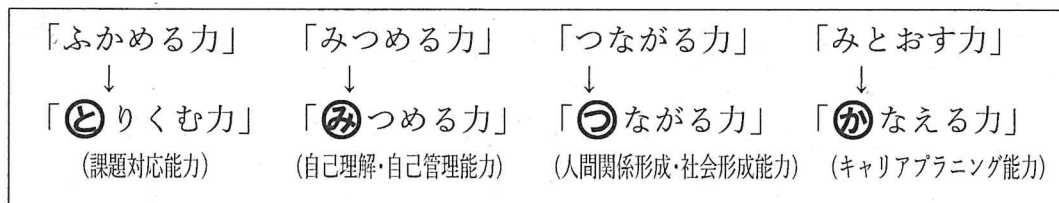
(3) 発達支援教育の充実

- ・ 授業のユニバーサルデザイン「富中UD」
- ・ 個別課題、TT、習熟度、取り出し指導
- ・ 発達支援CD、発達支援学級担任、発達支援指導員、SC等との連携

☆ 「ほたる学級」も「通常の学級」も 生徒個々をよく見ること

2 生徒指導 キャリア教育を視点に

(1) 「社会を生き抜く力」を身に付けるための、4つの基礎的・汎用的能力の育成



(2) 自分づくりの意識啓発・自己肯定感の高揚

- ・ 富中1UPパスポートの活用
- ・ 目標設定 → 自ら考え、自ら実践 → 客観的自己評価力を高める場の設定
「共によりよく生きる」視点・方向性への意識付け

(3) 教職員と生徒の人間関係づくりの構築 (本音で語り合う関係)

- ・ 一人一人を認め大切にする教師の姿勢 「困った。」と言える

- (4) 互いを認め合い、思いやる心がある温かな集団づくり
 - ・ 年度当初に集団の人間関係構築の機会の設定
 - ・ 一人一人の居場所づくり（不適応生徒への支援・合理的配慮）
 - ・ ほたる学級、SRへのより温かな支援（職員、生徒の関わり、校内での存在感）
 - ・ 不登校、いじめの減少（抑制）←アンテナ高く、即対応
- ☆ 「自分と周りの人の心・体・命を大切にする」生徒及び教職員
- ☆ 「ほたる学級生徒」や「学校に来づらくなっている生徒」への手厚い支援
だれもが今より少しでも輝けるように。
- (5) 生徒がつくる学校 <学級自慢→学年自慢→学校自慢>
 - ・ 主体的な二大行事
 - ・ 縦割り活動の充実・発展
 - ・ 学級、学年における生徒の自主的実践的な活動
 - ・ 安心して生活できる学校、学級をつくるための仕組み（ルール）づくり
… 共によりよく生きる学校社会の構築
- (6) 自己を鍛え、個性を磨く部活動
 - ・ 目標に向かい、粘り強く取り組む力の向上
 - ・ たくましい心身・礼儀・協力の心の醸成
 - ・ 浜松市中学校部活動運営方針の遵守
 - ・ 生徒が主体となる活動内容の工夫

3 「ふるさと浜松」の活動（地域への愛と誇り、地域参画の意識啓発・態度育成）

- (1) 地域資源「もの・こと・いのち」の活用
- (2) 地域参画の意識啓発 ボランティア活動への積極的な参加
 - ・ 地域行事、奉仕活動へのボランティア参画
 - ・ 防災訓練への参加

4 コミュニティ・スクール

- (1) 地域が見える学校
 - ・ 地域の「もの・こと・いのち」が見える 学び・行事・校内環境づくり
 - ・ 地域人財を活用した授業での連携（教員の専門性の向上）、CSコーディネーターとの協働の推進
- (2) 学校が見える地域
 - ・ 教育活動の場、地域参画、積極的な広報

IV 求める教職員像

1 教職員としての「生徒」の捉え

- (1) 「生徒」は成長の途上にあることを意識するとともに、一個の人格として認められるべき存在である

- ・心を込めて指導、称揚、説諭できる教職員
- ・体罰、不適切な言動（暴言）は厳禁
- ・率先垂範、切磋琢磨できる教職員
- (2) 「生徒」は、感動と出会う中で成長するものである
 - ・熱い思いを語り、共に熱中し、泣き、笑い、感動を共有する教職員
- (3) 「生徒」は「可能性の宝庫」である
 - ・生徒の成長を信じ、一人一人に夢や希望をもたせ、個性を伸ばそうとする教職員
 - ・生徒のための様々な工夫を楽しめる教職員

2 教職員集団

- (1) 役割の自覚と経営参画の意識
 - ・自己の役割とその意義を自覚し、機能集団として活力を生み出す
 - ・様々な分掌で任された仕事への責任感と学校全体を動かしている意識
- (2) 良さを認め合い、弱みを見せ合い、補い支え合える仲間としての教職員集団
 - ・得意を生かし合い苦手を補い合う→のりしろの拡張とフォロー体制の強化
 - ・支え合い共に仕事をする仲間を思いやる雰囲気大切に
 - ・他者を尊重し、人を活かす
- (3) 「働き方改革」を通して、より充実した教職生活を確立
 - ・時間外在校等時間の縮減（生徒下校後、1時間30分以内に施錠）
 - ・多忙感を減らすことができる環境づくり
 - ・教職員育成指標をもとにキャリアステージを意識した研修、自己研鑽
 - ・年1度の記念日休暇の活用

V 保護者・地域との連携

本校は、地域の支援・協力があってこそ、充実した学校生活が成り立っている。このことは、常に忘れてはならない。

また、生徒が活躍する場を提供してくれていることは、生徒の自信・自己有用感を高めるとともに、生徒自身が、地域住民に信頼される機会にもなっている。さらに、地域住民が学校を好意的に評価してくれることで、一層、学校に対して協力的になる（プラスのスパイラル）。

※ 保護者の協力姿勢を、如何に引き出すか

※ 保護者への対応の在り方。常に最悪のことを想定した対応に心掛ける
（共に子供を見守る、子供の幸せを願うという気持ちを表す）

※ 丁寧・誠実・明るく・親切に接する（不易なもの）

- 1 家庭訪問や三者面談と電話による連絡（機を捉えた良い情報の提供）の充実
- 2 学校公開、便り・HPの充実による積極的な情報発信、さくら連絡網の活用
- 3 PTA活動と連携した保護者への啓発
- 4 コミュニティ・スクールの充実・発展